



カルメル
霊性センターニュース

2024年1月 404号

購読者の方々へのお知らせ

+主の平和

『カルメル霊性センターニュース』を常日頃からご愛読・ご利用頂きありがとうございます。

月刊誌として毎月発行してきた冊子でございますが、今後は紙面としては終了する事となりました。

はじめは故奥村神父様が創められた数枚の発行物が頁数を増やし、400号にも亘り続けられました事、皆様のご協力、御献身に心より感謝申し上げます。

2022年よりホームページへの掲載を始め、紙面からWebへの移行を進めて参りましたが、2023年12月号を以て、紙媒体での発行を終了とさせていただきます。

皆様へは急なお知らせとなってしまいました事、深くお詫び致します。

『カルメル霊性センターニュース』は今後、Webでどなたでもご覧になれるものとして、これからもご愛用頂ければと思います。
宇治カルメル会のホームページにて、過去のバックナンバーも含めて掲載されておりますので、是非ご利用下さい。

宇治カルメル会修道院ホームページ
<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

心より感謝と祈りのうちに

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
カルメル会宇治修道院 「霊性センターニュース事務局」
Tel:0774-32-7456
Fax:0774-32-7457
reisei@carmel-monastery.jp

目次

カルメル聖性センターニュースWeb移行へのお知らせ	・・・ 1
目次	・・・ 2
心の泉	・・・ 3
カルメル会の企画案内	・・・ 17
東京	・・・ 18
名古屋	・・・ 19
京都	・・・ 20
キリスト教放送局F E B Cのご案内	・・・ 24
諸所の企画案内	・・・ 25
通信深読お申込みのご案内	・・・ 30
霊性センターニュース郵送終了のお知らせ	・・・ 31

心の泉



宇治カルメル会修道院



第三卷

第五十八章 深遠な奥義や、はかり知れない神のみ旨を、 みだりに探ってはならない

6 空しい親しさ

こうした人々、特に天からの照らしをあまり受けず、完全で霊的な愛をもって愛することを知らない人々は、無知のままに語る。彼らは、本能的な愛情や人間的な友情によって、あれこれの聖人たちを慕い、天のことが地上のことと同様におこなわれていると考えている。しかし、不完全な人間が考えることと、天の照らしを受けた人が考えることとの間には、比較にならないほどのへだたりがある。

7 聖人にならって、聖人に祈りなさい

したがって私の子よ、あなたの理解がおよばない事柄を、好奇心にかられて探るのをやめなさい。むしろ、あなたが神の国において、せめてその末席にでも着くことができるように心がけなさい。天においてどの聖人がもっともすぐれているかを知る人があったとしても、その知識があるばかりに、私の前にへりくだり、より深く私の名を賛美しないなら、その知識は何の役にも立たない。要するに、自分の罪の多さ、徳の少なさ、自分の徳が聖人たちとどれほどへだたっているかを反省する者は、聖人たちの誰が大きくて誰が小さいのかと議論する人よりも、はるかに神に喜ばれる。無益な探究をして聖人たちの秘密を探るよりも、敬虔な祈りと涙とのうちに、聖人たちの取次ぎを願うことこそ益あることである。

8 もっとも謙遜な者

もし人々がそのようなことを控え、議論を避けるなら、それは聖人たちをいっそう喜ばせることになる。聖人たちは自分の功德を誇らず、どんな善も自分に帰せず、すべてを私に帰する。なぜなら、私は無限の愛をもって、それらすべてを彼らに与えたからである。彼らは神への愛に満たされ、豊かな喜びにあふれ、その光栄にもその幸福にも何一つ不足がない。どんな聖人も、光栄の高さに至っていればいるほどへりくだり、私に近づき、私から愛される。だから「聖人たちは、栄冠を神のみ前に置き、小羊のみ前にひれ伏し、世々に生きるお方を礼拝した」(黙示録 4・10, 5・14)と記されているのを、あなたは読んだであろう。

神の母聖マリアの祝日ではじまる新しい年に、
私たち共通の願いとして
すべての人の平和を祈るよう教会は呼びかけています。

天使の一言：

新しい年の入り口に天使を見た。
それで「この年を全く確実に歩むことができるように光をください」と願った。すると天使は私に言った、
「夜の闇に出てごらん。そして神のみ手にお前の手を委ねなさい。それがお前にとって最良の、そして最も確実な道なのだ。」



テレーズの言葉：1月2日はテレーズの誕生日

慈しみ深い 神のみ心に
わたしはわたしのすべてを与え
身軽になつて 走る
ただ一つの 富のほかは
何ものも 持つことなく —— わたしは愛に生きる

三位一体のエリザベツ

「心の深みで神との親しさに生きることは、あまりにも惨めな自分には向かない」
などと言わないでください。私たちが清められるのは、自分の惨めさを見つめてではなく、
清さ、聖そのものである方を眺めることによってなのですから。

福者マリー・エウジェンヌ神父 ocd

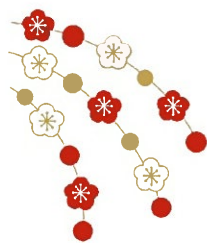
人生の出発点では道はまっすぐだと、私は思っていた……ところが、
急停止を余儀なくされ、曲がらねばならない！
このように、聖霊が私たちが面食らわすことがよくある。
その時こそ、神の愛の力に希望するとき！

私たちは、神的なものが芽生えていく「混沌」を生きながら、
そこにこそ神のみ手があるということを発見していく。

あれこれの出来事を私たちに強要される時ほど、神が望まれていることが確かなときはない。「始めたことが間違っていた」とする理由にはならない…どうしてこのようになったのか
私たちにはわからない。けれども、神はそれを説明する必要はない。
外面的に見て成功していないことも、後になって恵みの泉となりうる！

神の慈しみに信頼と希望を置いた

よい年になりますように!!



伊従 信子 (いよりのぶこ)

ノートルダム・ド・ヴィ

戦争がなくならない本当の理由

九^{のり}里 彰

先日、私と同じ名前をもった、しかし私よりずっと有名な池上彰氏の『世界から戦争がなくならない本当の理由』を読んだ。政治や経済や宗教や文化や民族のことなど、複雑な時事問題を歴史的に簡明に説明しており、世界における日本のこれからの歩みを考えるうえで大いに役に立つ一書かと思われた。

ただし、宗教者の一人として見れば、残念ながら、少し、というか大分物足りない。というのは、戦争を引き起こす本当の理由は、外面的なことではなく、それ引き起こしている人間の内面、仏教的に言えば無明から生じる煩惱、キリスト教的に言えば原罪から来る七つの罪源にこそあると考えられるからである。それはまた、宗教の宗教たる所以でもある。

使徒パウロは、テサロニケの教会への手紙の終りに人間を次のように表現している。

どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。またあなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。あなたがたをお招きになった方は、真実でかならずそのとおりにしてください。(1テサ5・23-24)

「霊も魂も体も」に関しては、フランシスコ会訳聖書には、「ギリシア哲学に見られるような、人間の三つの別々な部分を表しているのではなく、むしろ、ユダヤ的思考の流れをくみ、それぞれ三つの観点から見た人間の全体を表している」との注がある。心身一如的な東洋的な考えと軌を一にしているが、人間の霊の次元から、言い換えれば、神と人が交わる次元から平和を考えなければ、根本的な解決にはならないのではないかと思われる。つまり、魂の次元が人間の精神作用の領域を意味するとすれば、いくら人間的な知恵をつくしても、それだけでは、人と人、国と国の争いを抑止することは、永遠に難しいということである。

十字架の聖ヨハネのこぼれ話（186）

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

おお、何という交換！（2）

人間に託され、飼い葉桶に寝かされている神の喜びは、悲しみから人間を解き放ちます。キリストは自ら造った悲しみを粉碎してくださるのです。人間の悲しみを、受肉と、受難・死・復活をもってぬぐい去ってくださるのです。

聖人は何とやさしく、全被造物がまとわされた美と尊厳を、思い起させてくれることでしょうか（CB5, 4）。それらは、「神のみ姿のあの超自然的で無限の美に由来し、神がそれらをごらんになると、この世界と天国全体に美と**喜び**をまとわされるのです」（CB6, 1）。

上述のこと、十字架のヨハネの喜びの源泉についてひと言つけ加えるとすれば、彼の大きな希望、希望の実践に言及しなくてはならないでしょう。聖パウロは、「希望をもって喜びなさい」（12, 12）と、ローマの信徒を励ましています。十字架のヨハネは、ただ希望を思い出すようにとだけ言っています。「おお、天国の希望よ、希望すればするほど、それを手にできるとは！」。彼は希望を生きたので、喜びを生きました。「喜びなさい、そして神に信頼しなさい」とは、彼の霊的娘であるペドラサのドーニャ・ホアナへの指示です。



(P. 九里訳)

主の公現の祝日 (B)

(マタイ 2:1-12)

マタイは、旧約聖書から多くの考えやイメージを使用しています。東方の三博士 Magi の物語では、マタイはすでにメシアは来ていると示していますが、ユダヤ人たちから拒まれ、異教徒たちには受け入れられました。

私たちはまだクリスマスの流れの中において、主のご公現の祭日をお祝いします。ギリシャ語の (*Epiphany*) は、出現、現れ、結末などを意味しています。マタイによる Magi (賢者) の訪問の説明によると、この人たちは、王たちに仕えたペルシャの司祭、あるいは夢を解釈したり、キリストの誕生の地を発見するために星の動きを観察するのにその技術を使用した天文学者でありました。しかし、彼らは神が現れる民や民族とは異なるイメージ (異邦人) でした。彼らが見て、ついてきた星は救いの光、キリストでした。

三人の Magi の旅は、非常に霊的なものです。彼らが、メシアを発見することができたのは、彼らが発見するのにメシアに役だったからです。賢人たちは、彼らの旅を星が彼らの歩みを導き始める前に彼らの旅を霊的にはじめていました。彼らはすでに冒険に満ちた旅がどれほど長く、過酷であっても実行する気でした。彼らは故郷や、家族、快適さをはなれ、生活を危険にさらさなければなりません。彼らは、ヘロデ等に会わなければなりません。しかし、彼らの心は熱烈な信仰と希望に満たされ、何マイルも旅して、メシア。救い主、イエズス、インマヌエルに出会うことができました。そして Magi は、新たに産れた救い主に王を意味する黄金、乳香、没薬を捧げました。

福音は、私たちが主に会うためには自分の周りのものから離れて、神のために優先的に選択しなければならないと教えています。これは容易な旅ではありません。主に会う前に、私たちは人生の中で大勢のヘロデに出会うからです。忍耐する人だけが、主のご公現に出会うことができるのです。

(Sr. Pauline)

年間 第2主日 (B)

「あなたはヨハネの子シモンであるが、
ケファ（『岩』という意味）と呼ぶことにする」（ヨハネ 1 : 42）

ヨハネの子シモンはなぜペトロ（岩）なのでしょう（マタイ 16:18、マルコ 3:16、ルカ 6:14、ヨハネ 1:42）。ペトロの信仰が確固たるものだったからでしょうか？ペトロの信仰が確固たるものだとしたら、その信仰はどのような意味で確固たるものなのでしょう？

マタイ福音書 16 章 13-19 節でペトロと命名された後、すぐにペトロはイエス様がエルサレムにおける迫害と死と復活について打ち明けられた時、イエス様を脇へ連れ、諫め始め、イエス様からサタン引き下がれと言われました。また、ゲッセマネの園ではヤコブとヨハネと共に眠ってしまい、イエス様が捕まった時は他の弟子たちと同様に見捨てて逃げ、その後、3度イエス様を知らないと言ってしまいました。このようなペトロの姿は私たちに、ペトロの信仰が確固たるものであるのは、強く正しく生きられるという意味ではないことを示しているでしょう。ペトロは他の弟子たちと同様に、十字架への道において躓く者でした。

それではペトロがペトロ（岩）である理由は、ペトロがイエス様に対して「あなたはメシア、生ける神の子です」（マタイ 16:16）と告白できたことと関係しているでしょう。

ところで、旧約において「岩」のモチーフは御父なる神さまの確かさを表す意味で多くの個所で用いられています（申 32 章で 6 回、1 サム 2:2、2 サム 22 章…他多数）。神が岩のように確かであることは、神がイスラエルの民と交わされた契約への確かさであり、神の契約への確かさが、神の慈愛と真実として表されています。

ペトロはイエス様のうちに、旧約において何度も言われてきた、岩である神を見出したのでしょう。ペトロがペトロ（岩）と言われるのは、ペトロが確固たるものだからではなく、確固たる神をイエスの内に見出したから岩なのでしょう。

私たちがアーメン（確かに）と告白するのも、神のエメト（真実、忠実）と神のエムナー（堅固）によります。岩である神のエメト、エムナーが私たちに信仰を生じさせます。

(P. 志村)

年間 第3主日 (B)

(マルコ 1 : 14 - 20)

今年B年は、4つの福音書のうち最も早い時期に最も短い分量で執筆されたマルコによる福音書が読まれます。イエスは神の福音を宣べ伝え、最初の使徒たちを呼び集めて宣教活動を開始します。

洗礼者ヨハネの宣教を引き継いで「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」とイエスは神の国を宣言しました。洗礼者ヨハネ同様、イエスが告げる神の国とは悔い改めへの呼びかけですが、ヨハネの宣言よりも偉大なものです。「時は満ち、」神の国はすでに到来していると、イエスは言葉と行いを通して何度も宣言します。イエスがもたらす癒しと罪のゆるしは、神の国のしるしです。罪や偽りを避けて救い主である神へと向かうことへの招きです。これこそ、神は愛にあふれる私たちの父親だというよい知らせです。神はひとり子イエスを通じて全人類を救いたいのです。

今日の福音の後半は、最初の弟子たちが呼ばれる場面です。神がもたらす救いには、神の民の協力が伴います。そのため、人々は神の国を建設するために協力するのです。弟子たちはイエスの呼びかけにすぐに応えました。アンデレとペトロは網を捨ててイエスに従いました。ヤコブとヨハネも網、父、雇い人たちや舟を残してイエスに従うために即座に応答しました。彼らは魚の漁師でしたが、イエスによって人をすなごる漁師となりました。イエスは私たち一人ひとりを弟子として呼ばれます。私たちも心の底からイエスの呼びかけに応じて回心した生活を送り、神の愛の福音をつげ知らせようではありませんか。

(Sr. Paulina)

年間 第4主日

(マルコ 1 : 21 - 28)

主のご降誕を祝う季節も終わって年間の時に入り、今年は教会の暦はB年ですので、先週の第3主日からマルコによる福音書の箇所が順に読み始められる様になりました。この前は、イエスが福音を宣べ伝えるガリラヤにおける宣教開始と、4人の弟子たちの召命の場面が語られましたが、今週はその続きの場面になります。

イエスは安息日にガリラヤ地方のガリラヤ湖の湖畔の町、カファルナウムに来られ、ユダヤ教の会堂にお入りになり、人々に教え始められました。具体的な事柄は記されておりませんが、権威ある者としてお教えになられたことから、人々はその教えに非常に驚いたと語られています。今まで神の教えを伝えていた律法の専門家たちの教え方とはその教え方が異なっていた様です。

その様な中で汚れた霊に取りつかれた男が「…正体はわかっている。神の聖者だ。」と会堂で叫びます。人となられた神の子イエス。そのことを人々はわかっていたわけではありませんが、汚れた霊はイエスがどの様な方であるのかをわかっています、このように会堂で叫んだわけです。

そしてイエスが「黙れ。この人から出て行け。」とお叱りになると汚れた霊は、その人から出て行きました。その場面を目の当たりにした人々は、驚いて論じあうだけでなく、イエスの評判を他の人々に告げ知らせていった模様で、たちまちガリラヤ地方の隅々にまで広まったと記されています。

イエスは人々にお教えになりました。言葉には権威があり、単に語られるだけでなく、汚れた霊に命じると、その霊が言うことを聴くように、そこには神の力が働いており、天の国、神の国が人々の間に始まり、広がってゆく有様を、思い起こさせてくれる様に思います。私たちが神に心を向け、働いておられる神に感謝と賛美を捧げながら、神とともに人々とともに歩んでゆくことができますように。神の恵みと祝福がいつも豊かにありますように。

(Fr. 古川利雅)

いのちの言葉 1月

あなたの神である主を愛しなさい、
また、隣人を自分のように愛しなさい。¹

(ルカによる福音書 10・27)

今年の「キリスト教一致祈禱週間」²を生きるために選ばれたのが今月のみ言葉です。このみ言葉の起源は旧約聖書³にさかのぼります。イエスは、エルサレムへ向かう途中、ある律法の専門家に呼び止められこう質問されます。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか？」⁴と。対話が始まり、イエスは「律法には何と書いてあるのか？」⁵と逆に彼に問いかけ、彼が自分で答えを見出だすようにされました。律法の専門家は、神への愛と隣人への愛と答えました。この二つの教えは、律法と預言者を要約する教えと考えられています。

あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい。

しかし彼が、なおも続けて「では、私の隣人とは誰ですか？」と問うので、イエスは「善きサマリア人」のたとえ話でお答えになります。その中でイエスは、隣人となり得る人を列挙することなく、たとえどんなことをする時にも、私たちの心の根底にあるべきことは人を深く思いやる態度であると語られます。つまり、他の人にとって「隣人」となるべきは私たちだということです。それでは自問してみましょう。「私は誰の隣人なのでしょう？」と。

まさに、善きサマリア人がそうであったように、この人には助けが要ると分かっている兄弟姉妹を助け、それに伴って起こる事態を恐れることなく全面的に関わっていくことが私たちにも求められるでしょう。大切なのは、助けを必要としている人に手を差し伸べ、支え、励ましたいという愛をもつことです。

私たちは隣人の中に「もう一人の自分」を見出し、自分にして欲しいことをその人に行うことが求められます。これは、すべての宗教に見られるいわゆる「黄金律」と呼ばれるものです。ガンジーは、これを実によく説明しています。「あなたと私は一つですから、私自身を傷つけることなしに、あなたを傷つけることはできません」⁶と。

あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい。

「もし私たちが、隣人の物質的、精神的な必要に対して無関心であったり、自分にはそんなゆとりはないからと諦めたりするならば、自分と同じように隣人を愛しているとは言えないでしょう。イエスが愛されたように、私たちも彼らを愛しているとは言えないでしょう。イエスの愛を生きようとする共同体において、不平等、あるいは、人を疎外したり、ないがしろにしたりすることがまかり通ることはありえないのですから。…隣人のこ

とを、平穏な生活を乱す人、私の計画を妨げる人とみなしている限り、私たちは心を尽くして神を愛しているとは言えないのです。」⁷

あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい。

人生とは、今この瞬間に起こることです。自分の周りに誰がいるかに気づき、相手に耳を傾けることで、光を垣間みたり、思わぬ方向に物事が展開したりすることがあります。

ビクトリアに起きたことです。「教会で、私の隣にいたアフリカ人女性の声がとても美しく私は感動しました。彼女に称賛の言葉をかけ、ぜひ教会の聖歌隊に入って下さいと、勧めました。話しているうちに彼女は、赤道ギニア共和国から来た修道女で、マドリッドに一時的に滞在していることを知りました。彼女がいるギニアの修道院では、親から見捨てられた赤ちゃんや子ども達を引きとって、大学での勉強や職業訓練を通して、彼らが成人するまで支援していました。そこには縫製の職業訓練所もあって運営面ではかなり順調にいつてはいますが、ただミシンの台数が不足していました。

事情を知り、私もミシン探しに協力すると彼女に約束しました。私は、この願いを聞き入れてくださるようにとイエスに信頼しました。そしてあれこれ心配せず惜しみなく愛するようにとイエスから促されるのを確信しました。

私の友人は、ある職人さんを紹介してくれました。彼は喜んでミシン探しに協力してくれ 8 台のミシンの修理を手配してくれただけでなく、作業用のアイロンも見つけてくれました。あるご夫婦は、2 日間の休暇で行く予定だった目的地を変更して 1,000 キロ近く離れたマドリッドまで車でミシンを運ぶことを引き受けてくれ、こうして「希望のミシン」は陸路と海路をへて長旅の末、やっと無事にマラボに到着することができました。ギニアでは信じがたいような出来事の末ミシンが届けられたことに対して、彼らから深い感動と感謝にみちたメッセージが送られてきました。

あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい。

パトリツィア・マツォーラと「いのちの言葉」編纂チーム

*いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

1. 日本聖書協会『聖書 新共同訳』
2. 「キリスト教一致祈祷週間」は、毎年1月18日から25日の間、北半球で祝われます。今年はブルキナファソのエキュメニズムチームによって祈りのテキストが準備されました。
3. 申命記 6,4-5 レビ記 19,18 参照
4. ルカ 10・25
5. ルカ 10・26
6. キアラ・ルービック、愛の芸術、チッタノーバ誌、ローマ 2005, p. 24
7. キアラ・ルービック、いのちの言葉 1985 年 11 月

連絡先: フォコラーレ 東京 03-3330-5619/03-5370-6424 長崎 095-849-3812

E-mail: tokyofocfem@gmail.com ホームページ: <https://www.focolare.org/japan/>

跣足カルメル修道会HP (International)

跣足カルメル修道会ローマ本部のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com> の記事を紹介します。

<< Communications (時事通信) >>

2023年11月14日

イスラエル発；「私たちエルサレムの跣足カルメル修道会は、
今対立しているこの二つの民族の人々とともに祈ります」



ロザリオの聖母の記念日の10月7日、朝の祈りとミサ聖祭中にエルサレム上空でけたたましい警報が絶え間なく鳴り続き、正午ごろまで続きました。鉄のドームのそばで破壊されたロケットの鈍い爆音で、我々はそれが攻撃であったことを理解しました。人々の驚きは大きく、エルサレムへの攻撃という深刻で衝撃的な出来事となりました。その日はユダヤ教にとって仮庵際の最終日で、人々の祝祭の喜びは突然、紛争の騒音に取って変えられました。次の日には、聴きなれない非常警報が鳴り響き、その瞬間には誰もがその場にとどまり、動かず、静かに祈り、終わるのを待っていました。

エルサレムはまるで長い安息日のように停止し、商店は閉まり、学校は閉鎖され、観光客や巡礼者は突然姿を消し、通りにはほとんど人がおらず、軍用機がガザ地区に入りし激しく報復する攻撃音が響いていました。私たちの町は、エルサレムに押し寄せた敵と、それに加わろうとする人々に対して、無数の検問所によって守られています。パレスチナ自治区は孤立し、誰も出入りできず、多くの労働者たちはベツレヘムやジェリコから日常業務の場にたどり着けないという、厳しい罰則を課せられています。

エルサレムでの攻撃は孤立した個人により実行されています。昨日は私たちが郵便物を受け取る郵便局近くの警察に対して、今日は一般のユダヤ人通行者に対して、またパレスチナ人の投石に対してなどの攻撃です。ガザのパレスチナ政府は、彼らの領土近くに住むユダヤ人に対して恐怖の攻撃をしかけており、他の地域のパレスチナ人も同じことをしようとしています。夜になると壁を隔てて、近くのパレスチナ地区から銃撃や銃弾音が聞こえますが、これは初めてのことはありません。しかし今回私たちは、朝修道院の回廊や庭で集められた小さな手榴弾や見たことのない催涙ガス弾を初めて目にし、さらに爆竹のカートリッジ全体、弾丸の莢莖、悪臭の水などを見て彼らの攻撃に対する知識は拡大しました。

私たちは、ガザ地区近くユダヤ人コミュニティへの攻撃で、想像を絶する殺戮がなされ、負傷者、人質、そしてあまりにも多くの死者が出たことを知りました。そしてまた、イスラエル軍の激しい爆撃、封鎖、大量脱出にさらされているガザ地区の多くの住民に対しても、同様にこころより同情しています。私たちのこころは、学校や教会、少数の修道女や神学生、さらにイスラム教徒さえも避難してきている小さなクリスチャンコミュニティとともにあります。

実はこのところ、私たちの修道会は創立150周年を祝う聖母の祭典の準備を進めてきました。創立以来今まで、修道院と修道女たちはこの地域での多くの敵対関係の時代を経験し、オスマン帝国、ヨルダン、英国などの様々な権力支配のもとで生きてきました。今日、この地はイスラエル人の支配国ですが、パレスチナ人が住む旧市街とオリーブ山地域は、東エルサレムの“所有権をめぐる係争地であり、占領中の、併合された”地域となっています。

ベツレヘム、ナザレ、ハイファの跣足カルメル修道会もガザ地区から攻撃を受けており、カルメル山の向こう側、近隣のレバノン南部からも襲撃を受けていますが、私たちカルメル会は連帯して立ち向かいます。大使館は私たちに本国に戻るよう勧めますが、勿論それはこの地から退去することではありません。

聖地での生活の浮き沈みの中で生きる人々とともに、私たちはささやかであっても、彼らの今日と明日の平和と正義のために心を向けて祈りましょう。この戦争において、解決のための壁や他の制約や監視の持続は、長期的に役に立たないことが証明されています。正義と平和だけが、困難ではありますが、永続的な平和をもたらすことができます。私たちは日々ユダヤ人とパレスチナ人のうちの優れた人々を通して、平和の種を集めることができと思っています。私たちの修道院にとって、それはオリーブの収穫の時であり、疲れませんが穏やかに喜びの時です。祈りは聖なる日課であり、その時は内容から緊張感を感じ取って祈りを捧げています。

跣足カルメル修道会全体として、苦しんでいる人々のために一致して祈るよう呼びかけてくださり、また祈りを捧げる決意をされた皆さま方に、感謝致します。そして今も両陣営で戦っている人たちには、彼らが人間性を保持し続けるよう祈ります。

聖地のキリスト者にとって、10月17日(火)は紛争の和解のために祈る断食の日でした。

「神は無秩序の神ではなく、平和の神である。」(Iコリント14:33)
兄弟姉妹の皆さん、主が真の平和をお与えくださいますよう、どうぞ私たちと一緒に祈りください。

(訳・注:小宮山延子)

カルメル会の企画案内



カルメル会の標語

Zelo zelatus sum pro Domino Deo exercituum

私は万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました（列王記上 19 : 10）



東京 上野毛 霊性センター

黙想企画 **上野毛 聖テレジア修道院 (黙想) **
(2024年1月～)

- ・ 聖書深読黙想会(土曜日 17時～日曜日 16時) カルメル会士
2024年 2月24日～25日
- ・ 青年黙想会(男女) 35歳まで(初日 16時～最終日 16時) カルメル会士
2024年 3月23日(土)～24日(日)



- * 日程、指導司祭は変更される可能性もあります。お申込みの際には、ホームページ (<http://www.carmel-monastery.jp>) なども合わせてご覧下さい。
- * こちらに掲載されている以外の日時にもご利用可能です(グループ、個人いずれも)。お気軽にお問い合わせください。
- * 間違いを避けるため、お問い合わせは FAX・はがき・Eメール等、文書でお送り頂きますと幸いです。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25
聖テレジア修道院(黙想)

Tel:03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

Eメール: mokusou@carmel-monastery.jp

ホームページ: <http://www.carmel-monastery.jp>

旧約聖書から学ぶキリスト教霊性
—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

2024年1月20日

ルツ記 人による慈愛（ヘセド）と神の慈愛（ヘセド）

ヤコブ（イスラエル）の霊性：神が戦われる

2024年2月17日

民数記の全体構造とメッセージ① 旧世代

2024年3月16日

民数記の全体構造とメッセージ② 新世代

その後の日程：4月20日、5月18日、6月22日、7月20日、9月21日

その後のテーマ：ヨシヤ記の全体構造とメッセージ、士師記の全体構造とメッセージ、サムエル記の全体構造とメッセージ①、②、列王記の全体構造とメッセージ、エズラ・ネヘミヤ記の全体構造とメッセージ、など

持ち物：必ず聖書（旧約＋新約）をご持参ください。

場所：跣足カルメル修道会日比野修道院（カトリック日比野教会）

参加費無料。

担当：志村武神父（跣足カルメル修道会）

問合せ：日比野修道院（052-671-1003）

静修の集い（名古屋日比野修道院）

2024年3月9日（土）10：00～15：00

テーマ：リジューの聖テレーズにおける信頼の道

講話担当司祭：志村武神父

【スケジュール】

10：00～10：20 はじめの祈り

10：30～11：30 講話①

11：30～12：00 ご聖体顕示、念祷

12：00～13：00 昼食（各自持参）

13：00～14：00 講話②、

14：10～ミサ、その後茶話会、解散（15：00頃）

持ち物：聖書、昼食（各自）、お持ちの方は『カルメル山登攀』

参加費：無料（自由献金をお願いいたします）



宇治カルメル会 黙想会案内 (2024年1月～2025年3月)

【一般のための黙想】 中川博道神父

1泊2日 (土曜 午後5時～日曜午後4時)

5:30 サルヴェ・レジーナ(修道院)から開始

2024年

1月20日～21日 4月13日～14日 7月20日～21日 9月14日～15日

11月16日～17日

2025年

1月18日～19日 3月1日～2日

【聖書深読】 (土曜午前10時～午後4時) 中川博道神父

2024年

2月10日 4月6日 6月8日 9月28日 11月30日

2025年

1月11日 3月15日

【水曜黙想会】 (午前10時～午後4時) 中川博道神父

2024年

1月17日 2月14日 3月20日 4月17日 5月15日 6月12日

7月17日 9月11日 10月16日 11月27日

2025年

1月22日 2月19日 3月19日

【カルメルの靈性】 (金曜午後5時～土曜午後4時)

カルメル山の聖母 7月14日(日)～15日(月) 中川博道神父

幼き聖テレジア 未定 松田浩一神父

十字架の聖ヨハネ 12月21日(土)～22日(日) 中川博道神父

【ゴールデンウィーク黙想会】 中川博道神父

4月27日(土) 午後5時～5月4日(土) 朝食

参加者は全日通しでもどの日からでも期間は自由

【祈りの学校】 (木曜 午前10時～午後4時) 松田浩一神父

2024年

1月11日 2月13日 3月21日

【祈りの学校 入門編】 (火曜 午前10時～午後4時) 松田浩一神父

2024年

1月30日 2月20日 3月19日

【奉献生活者の黙想】（午後5時～午前9時）

2024年

3月4日(月)～13日(水) 中川博道神父(一般可)

8月9日(金)～18日(日) 松田浩一神父(奉献者のみ)

10月7日(月)～16日(水) 中川博道神父(一般可)

12月27日(金)～1月5日(日) 中川博道神父(一般可)

2025年

3月4日(火)～13日(木) 中川博道神父(一般可)

【青年男女のための黙想会】（35歳以下） 松田浩一神父

1泊2日（土曜 午後5時～日曜午後4時 日曜のみ参加可）

2024年

2月10日(土)～11日(日)

－その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします－

☆お申し込みは電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申込み下さい。お電話はなるべく午前9時～午後5時の間にお願い致します。受付が休みの場合はその場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様をお願い致します。

聖書は各部屋に備えております。またタオル類も準備してありますが、コロナ感染症対策のため各自専用分を持参してもかまいません。

現在は感染防止策のため人数制限をしておりますので黙想参加希望の方は早めのお申し込みをお勧めします。

また参加の際には三密回避などを心がける様ご協力お願い申し上げます。



〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
宇治カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）
Tel 0774-32-7016 Fax 0774-66-1191
E-Mail:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp
<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

教皇フランシスコの著作を学びましょう

日時：2024年2月10日（土）PM5時～2月11日（日）PM4時

著作：『すべてのいのちを守るため』



イエスのテレサ



リジューのテレーズ



十字架のヨハネ

教皇フランシスコは、現在起こっている各地の戦争を憂慮しています。日本も国際社会の一員として他人ごとではありません。私たちの思いを凌駕する神の思いとは何でしょう。人間の正義を凌駕する神の義は「いつくしみ」とテレーズは言います。教皇の著作からこのことを学ぶことに致しましょう。

場所：宇治聖テレジア修道院（黙想）

対象：35歳までの青年男女

参加費用：下記のEメールか、FAXでご確認ください。

講話と同伴：松田浩一神父

申込み：〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12

カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

FAX：0774-32-7457

Email：teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

松田浩一神父（カルメル会）による黙想会

「祈りの学校」

キリスト教の祈りを学び、実践する企画です。イエス様から教会へ伝承された「祈り」に基づいて、そして教会の中で培われた「祈り」について学んでいきます。



すべて木曜日 10:00～16:00

2024年 1月11日 2月13日 3月21日

「祈りの学校 入門編」

すべて火曜日 10:00～16:00

2024年 1月30日 2月20日 3月19日

持参するもの・・・筆記用具・ロザリオ

お問合せ・お申込みは、FAX、ハガキ、E-mailにてお願いします。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

カルメル会宇治聖テレジア修道院（黙想）

Fax 0774-66-1191（聖テレジア修道院（黙想）専用）

E-mail : teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

番組案内

<p>日</p> <p>夜9:30~</p> <p>主日礼拝取材番組</p> <p>全地よ 主をほめたたえよ</p> <p>[第1] 日キ教会 高知旭教会 [第2] 日基教団 小岩教会 [第3] ホーリネス 東京中央教会 [第4] 日基教団 石動教会 [第5] 日基教団 久万教会</p> <p>夜10:27~</p> <p>主に向かって歌おう(再) 飯靖子</p> <p>日基教団 聖歌隊指揮者・オルガニスト</p>	<p>月</p> <p>[月~金] FEBBC TODAY - 今日の聖書・今週の讃美歌 -</p> <p>夜9:30~</p> <p>恵子の郵便ポスト</p> <p>FEBBCメイン・バーナナリティー 吉崎 恵子</p>	<p>水</p> <p>夜9:47~</p> <p>暗闇の中の光</p> <p>ヨハネによる福音書(再)</p> <p>藤盛 勇紀</p> <p>日基教団 富士見町教会 主任牧師</p>	<p>木</p> <p>夜9:47~</p> <p>罪人の頭たちの聖書のことはば</p> <p>石垣弘毅</p> <p>日基教団 中津津 伝道所牧師</p>	<p>火</p> <p>夜9:47~</p> <p>いつも、そしとともに</p> <p>一マタイによる福音書(再)</p> <p>井幡 清志</p> <p>日基教団 石動教会牧師</p>	<p>土</p> <p>夜9:30~</p> <p>一期一会のみことば</p> <p>加藤智</p> <p>カトリック、さいたま教区司祭</p>	<p>金</p> <p>[第1] 夜9:37~</p> <p>Echo of Voices</p> <p>宮城石巻読書の集い</p> <p>川上直哉</p> <p>日基教団 石巻栄光教会牧師</p>	<p>夜9:53~</p> <p>Kishikoのひとりじゃないから</p> <p>コスヘルシンガー</p>	<p>[第2] 夜9:37~</p> <p>ボンヘツプアアーの説教に聴く(再)</p> <p>村上伸</p> <p>日基教団 元教師</p>	<p>夜10:14~</p> <p>テゼ・みころの歌</p> <p>植松功</p> <p>敬愛と祈りの集い 聖公会 世話人</p>	<p>夜10:14~</p> <p>石巻J-CCM ステーション</p> <p>伊藤治哉</p> <p>ルーテル同盟 石巻希望の家牧師</p>	<p>夜10:14~</p> <p>Echo of Voices</p> <p>長倉崇宣</p>	<p>夜10:28~</p> <p>御足の跡を</p> <p>小池与之祐</p> <p>日基教団 神の愛 キリスト伝道所牧師</p>	<p>夜10:27~</p> <p>主に向かって歌おう(再) 飯靖子</p> <p>日基教団 聖歌隊指揮者・オルガニスト</p>	<p>[第1~3] 夜10:04~</p> <p>コーヒー・ブレイク・インタビュー</p>	<p>新 夜10:32~</p> <p>トライアール! 聖書朗読</p>	<p>夜10:14~</p> <p>主に向かって歌おう</p> <p>飯靖子</p> <p>日基教団 聖歌隊指揮者・オルガニスト</p>	<p>[第1・3・5] 夜10:28~</p> <p>旅の音、心の音</p>	<p>夜10:28~</p> <p>ふらつと トーク</p> <p>中川信一 長倉崇宣</p>	<p>[第3・4] 夜9:37~</p> <p>生きるとは、キリスト</p> <p>小林和夫</p> <p>ホーリネス 東京聖書学院教会牧師</p>	<p>夜10:22~</p> <p>MeguのCCM insight!</p> <p>Genuine Grace ホーカル</p>	<p>[第1~3] 夜10:04~</p> <p>コーヒー・ブレイク・インタビュー</p>	<p>新 夜10:32~</p> <p>トライアール! 聖書朗読</p>	<p>夜10:14~</p> <p>主に向かって歌おう</p> <p>飯靖子</p> <p>日基教団 聖歌隊指揮者・オルガニスト</p>	<p>[第1・3・5] 夜10:28~</p> <p>旅の音、心の音</p>	<p>夜10:28~</p> <p>ふらつと トーク</p> <p>中川信一 長倉崇宣</p>	<p>[第3・4] 夜9:37~</p> <p>生きるとは、キリスト</p> <p>小林和夫</p> <p>ホーリネス 東京聖書学院教会牧師</p>	<p>夜10:22~</p> <p>MeguのCCM insight!</p> <p>Genuine Grace ホーカル</p>	<p>夜10:33~</p> <p>御心の響き</p> <p>服部みぎわ</p>	<p>[第1] 夜9:37~</p> <p>Echo of Voices</p> <p>宮城石巻読書の集い</p> <p>川上直哉</p> <p>日基教団 石巻栄光教会牧師</p>	<p>夜9:47~</p> <p>私の救い、私たちの希望</p> <p>宮城石巻読書の集い</p> <p>川上直哉</p> <p>日基教団 石巻栄光教会牧師</p>	<p>夜10:14~</p> <p>テゼ・みころの歌</p> <p>植松功</p> <p>敬愛と祈りの集い 聖公会 世話人</p>	<p>夜10:14~</p> <p>石巻J-CCM ステーション</p> <p>伊藤治哉</p> <p>ルーテル同盟 石巻希望の家牧師</p>	<p>夜10:28~</p> <p>御足の跡を</p> <p>小池与之祐</p> <p>日基教団 神の愛 キリスト伝道所牧師</p>	<p>夜10:27~</p> <p>主に向かって歌おう(再) 飯靖子</p> <p>日基教団 聖歌隊指揮者・オルガニスト</p>
---	---	---	--	---	--	---	---	---	--	--	---	---	---	--	--	---	---	--	---	--	--	--	---	---	--	---	--	---	---	---	--	--	---	---

24

諸所の企画案内



真命山 霊性交流センター サダナ瞑想 慈しみ深き会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。
記載には注意を期しておりますが、
詳細は各問い合わせにご照会下さい。
よろしくお願い致します。

真命山 2024年 — 祈りの集いのご案内

テーマ 真の幸せへの道

「…あなたがたは喜びで満たされる」

(ヨハネ16.24)

毎月第2木曜日(10:00~15:00)

予約は前日の16:00まで

- 1月11日 「イエスは…群衆を見て、山に登られた」(ソットコロノラ・フランコ神父)
- 2月8日 「神よ…あなたのほかに しあわせはない」(ソットコロノラ・フランコ神父)
- 3月14日 心の貧しい人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)
- 4月11日 悲しむ人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)
- 5月9日 柔和な人々は、幸いである(Sr. マリア・デ・ジョルジ)
- 6月13日 義に飢え渴く人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)
- 7月11日 憐れみ深い人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)
- 8月 休み
- 9月12日 心の清い人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)
- 10月10日 平和を実現する人々は、幸いである(Sr. マリア・デ・ジョルジ)
- 11月14日 義のために迫害される人々は、幸いである
(コデノッティ・クラウディオ神父)
- 12月12日 喜びなさい。大いに喜びなさい。(コデノッティ・クラウディオ神父)



・個人またはグループでの黙想会
研修会も歓迎いたします(要予約)

申込先

真命山 諸宗教対話センター

865-0133 熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7

e-mail: shinmeizan@gmail.com

www.shinmeizan.com

Tel:0968-85-3100

Fax:0968-85-3186

サダナ瞑想 ～東洋の瞑想とキリスト者の祈り～

プログラムの詳細、開催状況、補充情報などはホームページをご覧ください。

<http://sadhana.jp/>

申込み受付・・開始日の8日前まで

コース	日時	指導	開催場所	申込み
フォローアップ	2024年 1/21(日) 9:30-17:00	Fr. 植栗	シャルトル 聖パウロ修道女会 九段修道院	来間(くるま) 裕美子※ Tel: 090-5325-2518 sadhana12378@ yahoo.co.jp
名古屋 サダナII	【前半】 1/27(土)-28(日) 【後半】 2/3(土)-4(日) 9:30-18:00 前半および後半に参加可能な方のみお申込み可能です。	同上	聖霊会八事修道院 ミッションセンター (名古屋市昭和区)	攪上(かくあげ) 暁子 Tel: 050-7108-7410 ngosdn@gmail.com
サダナI	2/9(金)17:30- 12(月・祝)16:00	同上	汚れなきマリア修道会・町田黙想の家	来間(くるま) 裕美子※
サダナII	2/21(水)17:30- 25(日)16:00	同上	同上	同上

※申し込まれると確認メールが返信されます。確認メールが届かない場合は090-5325-2518(来間)までお問い合わせください。

※不在の場合は、渡辺由子/Tel&Fax: 042-325-7554

●フォローアップおよびリピーターへの参加…サダナIを終えていること。

●入門Cへの参加…入門Aまたは入門Bを終えていること。



祈りの集い

～沈黙の内に神を求めて～

2024年1月11日(木)13:00～15:00に予定されていた「祈りの集い」(イグナチオ教会岐部ホール404号室)は、1月1日に起きた能登半島地震のため、指導の九里 彰神父(名古屋教区石川地区担当)の上京が難しくなったため、誠に申し訳ありませんが、中止とさせていただきます。
なお3月14日は開催する予定です。4月以降は、5月9日、7月11日、9月12日、11月14日の各木曜日を予定です。

集いの前半では、「祈りについての講話」をいたします。
いままで、アビラの聖テレジアや十字架の聖ヨハネ、モーリス・ズンデルや聖書などをテキストとして使用してまいりましたが、今回は、ウィリアム・ジョンストン神父の著作『愛と英知の道 ――すべての人のための霊性神学』(2017年、サンパウロ社)を少しずつ読みながら、祈りについての理解を深めて行きたいと思います。
後半では、すべての存在を支えておられる神の前にありのままの自分を置き、神の声に静かに耳を傾けて行きましょう。

場所:イグナチオ教会岐部ホール404号室
(JR・地下鉄丸ノ内線・南北線四ツ谷駅徒歩1分)

時間:以下の木曜日、13:00～15:00

2024年1月11日(木) 中止
3月14日(木)

主催:慈しみ深き会

指導:^{くのり}九里 彰神父(カルメル修道会)

- *参加費無料(献金歓迎)
- *問い合わせ先:042-473-6287 篠原(11:00～20:00)

カルメル誌 新刊案内



2023年 冬号 No.391

《ともに歩むーパンデミックの世界の中で》
わたしの生活とシボス 中山眞理

カルメルの外のカルメル
ー教会の外から見られたアビラの聖テレジアと
十字架の聖ヨハネ(4) 鶴岡賀雄

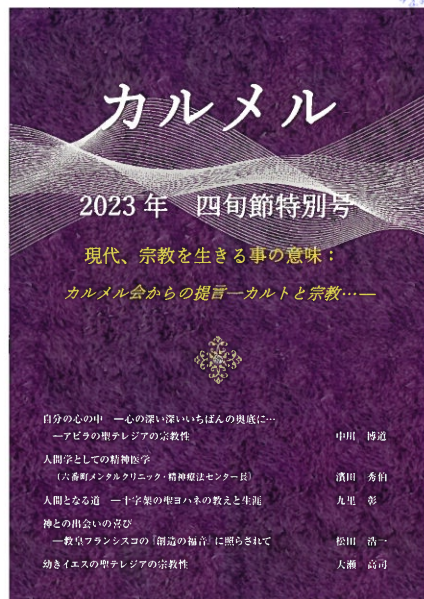
奉獻生活における心理学的知性と禁欲の霊性(4)
ウイリー・ソバ

日々の出来事の中で 神の霊は導く(8)
ーテレーズ生誕(1873~1897)ー五〇周年を迎えて
伊従信子

風に吹かれて再び(6)ー百人隊長 原 造

平和への道(4) 九里 彰

霊的研究会講義録(22)ー聖書・祈り・愛について
奥村一郎



2023年 特集号

現代、宗教を生きる事の意味：
カルメル会からの提言ーカルトと宗教ー

自分の心の中ー心の深い深いいちばんの奥底に…
ーアビラの聖テレジアの宗教性 中川博道

人間学としての精神医学 濱田秀伯

人間となる道ー十字架の聖ヨハネの教えと生涯 九里 彰

神との出会いの喜び
ー教皇フランシスコの『創造の福音』に照らされて 松田浩一

幼きイエスの聖テレジアの宗教性 大瀬高司

ご案内 1冊 580円 A5サイズ 50~70ページ

サンパウロ・ドンボスコ書店・イグナチオ教会案内所・上野毛教会信徒ホール本コーナー・
各カルメル会黙想の家 他にてお求め下さい

●送付ご希望の方は、760円【580円(+送料180円)】程度の献金を下記へお振込み下さい

●年間での継続送付ご希望の方は、年会費(年5冊：春夏秋冬+特集号 計 3,600円)を
下記へお振込み下さい

郵便振替:00190-4-195457 跣足カルメル修道会

●お問い合わせは、事務担当：内田幸子宛に上野毛修道院へ手紙かファックス、又は e-mail で。

〒159-0093 世田谷区上野毛 2-14-25 Fax: 03-3704-1764

E-mail: carmelshi.iimu@gmail.com



朝日カルチャーセンターの 通信深読「聖書に親しむ」へのご案内

「通信深読」は、「聖書深読黙想会」にさまざまな理由で参加できない方々のために考案されました。参加を希望される方は、下記の朝日カルチャーセンター通信講座課へお申し込みください。手続きがすめば、次のような手順でこの「通信深読」が行われてゆきます。

ファースト・ステップ

「個人素読」：毎月、朝日カルチャーセンターから指定された聖書深読箇所を、ひとりで繰り返し読み、み言葉を自由に黙想します。

セカンド・ステップ

「個人素読」の報告書作成：送られてきた用紙（B5用紙）に、深読箇所特に印象に残った節を二三ヶ所選び、番号と○や△や×などの記号を記し、「全」には、全体の印象を表す、ご自分の体験と結びついた具体的な名詞を、「照」にはみ言葉を実践する決意を示す動詞を書き込みます。さらに「所感」や「近況報告・質問」の欄に、ご自由に自分の考えや質問等を記入します。

サード・ステップ

（参加者から朝日カルチャーセンターへ送られた「個人素読」の報告書は、参加者全員のもものがまとめられ、講師へ送られます。）

講師が各参加者の「個人素読」の報告書に対しコメントし、深読箇所の「解説」（A4 2枚）と共に、朝日カルチャーセンターへ送り返します。

フォース・ステップ

コメントされた全員の「個人素読」の報告書（「近況報告・質問」はプライベートなこともあるので、削除されます）と「総合素読表」、そして講師の「解説」が冊子となり、各参加者に、センターから送られます。

* 費用：6ヶ月（20,360円）。納入は4月、7月、10月、1月。継続の場合19,130円。

* 講師：九里彰師（奇数月）、今泉健師（偶数月）

* 問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル

私書箱21号 朝日カルチャーセンター通信講座課

Tel: 03-3344-2527（直通）

『靈性センターニュース』

* 郵送終了のお知らせ *

『カルメル靈性センターニュース』はWeb掲載移行に伴い、
冊子の発行を終了しております。

これまで月刊誌として郵送を行って参りましたが、今後は
Webにてご覧下さいます様、お願い致します。

宇治カルメル会修道院ホームページ

<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

「カルメル靈性センターニュース」(PDF)をクリック
過去のバックナンバーも揃って掲載しております。
どうぞご活用下さい。

また引き続きご献金もお願いしております。

郵便番号口座： 00910-6-333184
加入者名： カルメル靈性センターニュース事務局

何かご質問等があれば、事務局の方にご連絡ください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
カルメル会宇治修道院 「靈性センターニュース事務局」
Tel:0774-32-7456
Fax:0774-32-7457

reisei@carmel-monastery.jp

男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>

Google:「カルメル会」で検索できます



男子跣足カルメル修道会
Order of Discalced Carmelites

靈性センターニュース掲載の情報も載っています

